

平成28年度大学入試センター試験 受験上の配慮申請書（裏面）

※ 該当する「□」の中を、黒又は青のボールペンで塗りつぶしてください。（塗りつぶすのが難しい場合は、レなどチェックで表示してください。）

障害等の種類と程度												
⑯ 視覚障害			⑰ 聴覚障害			⑱ 肢体不自由			⑲ 病弱		⑳ 発達障害	㉑ その他
点字による教育を受けている者	良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者	両眼による視野について視能率による損失率が90%以上の者	左記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	両耳の平均聴力レベルが60dB以上の者	左記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者	上肢の機能障害により筆記をすることができない者又は困難な者	下肢の機能障害により歩行をすることができない者又は困難な者	左記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とする者	その他の病気による体調不良等で配慮を必要とする者
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309

㉒ この欄に、受験に際して配慮を希望する理由（症状及び学校等の授業での状況等）を簡潔に記入してください。

㉓ 視覚に関する配慮事項							
点字解答（別室）		文字解答（別室）		拡大文字問題冊子の配付		拡大鏡等の持参使用	
試験時間1.5倍延長	点字器等の試験場での保管	試験時間1.3倍延長	試験時間延長なし	14ポイント	22ポイント	窓側の明るい座席を指定	照明器具の持参使用
リスニングにおける延長方式	連続方式	リスニングにおける延長方式	連続方式	ICプレーヤー	音止め方式	□1	□2
□1	□2	□1	□2	□1	□2	□1	□2
311	312	313	314	315	316	317	318

㉔ 聴覚に関する配慮事項					大学入試センター記入欄2				
手話通訳士等の配置	通達事項等の文書による伝達	試験を前倒しして実施	聴覚器（は）の着用	リスニングにおける音の免除	クローズドキャプション	60プレーヤーからの直接音声	聴覚器（は）の着用	試験場での使用	大学入試センター記入欄2
□1	□2	□	□	□	□1	□2	□3	□4	□5
319	320	321	322	323	324	325	326	327	328

㉕ 肢体不自由・病弱に関する配慮事項，その他の配慮事項																									
チェック解答（別室）		代筆解答（別室）		試験室における音の免除		トイレに近い試験室での受験		1階又はエレベーターが利用できる試験室での受験		特製机・椅子の持参使用		特製机・椅子の試験場での準備		車椅子の持参使用		杖の持参使用		試験場への乗用車の乗り入れ		座席を試験室の出入口に近いところに指定		別室の設定		リスニングにおいて途切れるため音声を一時的に停止（別室）	
試験時間1.3倍延長	試験時間延長なし	試験時間1.3倍延長	試験時間延長なし	同伴	者の配置	形態は問わない	洋式	障害者用	□1	□2	□3	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353

㉖ 発達障害に関する配慮事項							大学入試センター記入欄3			
マークシート解答（別室）		チェック解答（別室）		拡大文字問題冊子の配付			注意事項等の文書による伝達		別室の設定	
試験時間1.3倍延長	試験時間延長なし	試験時間1.3倍延長	試験時間延長なし	14ポイント	22ポイント（別室）	□1	□2	□	□	
リスニングにおける延長方式	連続方式	リスニングにおける延長方式	連続方式	ICプレーヤー	音止め方式	□1	□2	□	□	
344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	

㉗ その他の希望配慮事項等（記載事項以外で、希望する配慮事項があれば簡潔に記入してください。）

※ 提出された受験上の配慮申請書類は一切返却できませんので、注意してください。

（キリトリ線）